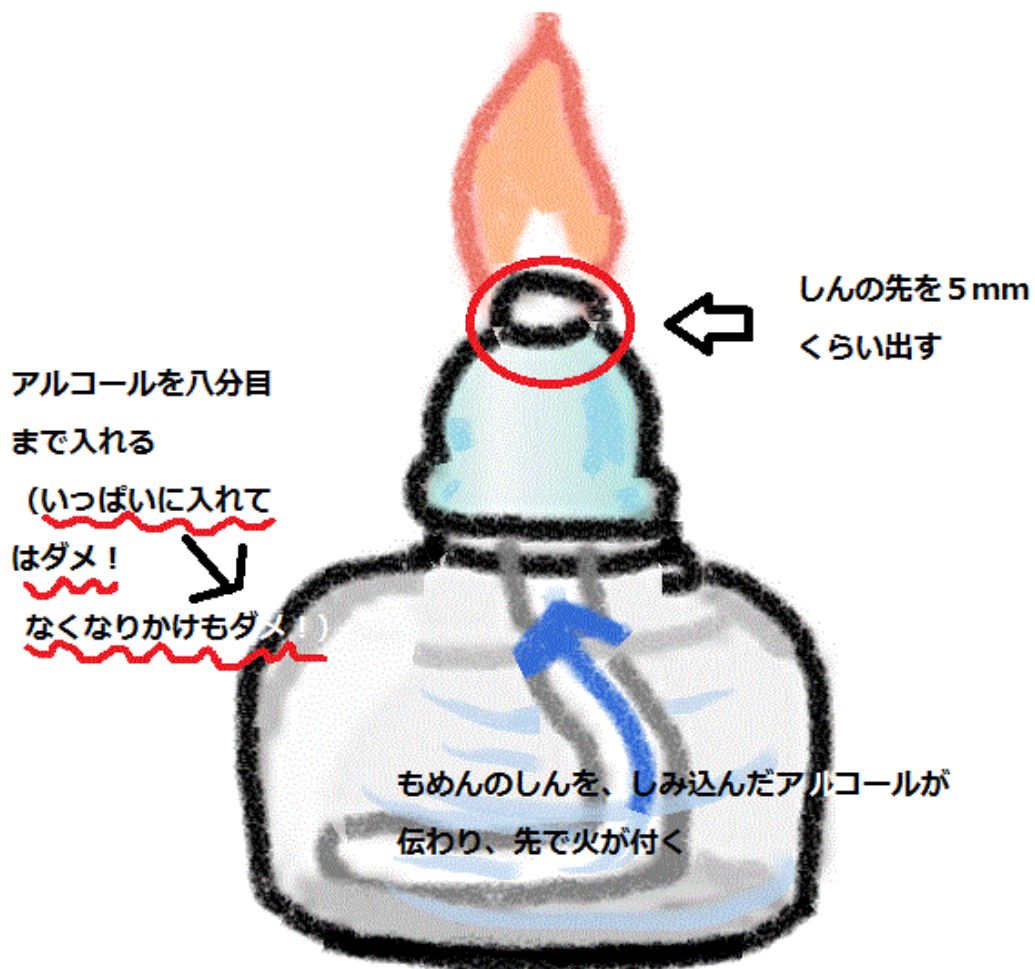


## アルコールランプの使い方

- アルコールランプの仕組みです。アルコールがしみ込んだしん(もめんのひも)の先に、火を付けます。炎を上げて燃えるのはアルコール、しんは燃えません。
- ランプの中にアルコールを入れるのは、先生にやってもらいましょう。アルコールの量は八分目位。多すぎると、アルコールがこぼれます。また、アルコールがなくなりかけているランプに火を付けると、爆発するおそれがあります。



- アルコールランプの火はガスバーナーやコンロより弱いですが、しかし、せまいところや小さいものを、ゆっくりと加熱するのに便利です。

- しんが短くなりすぎていないですか？ランプにひびが入っていませんか？口が欠けていませんか？



- マッチやライターで、ななめ横からしんを横切るようにして、火を付けます。
- 消すときは、ななめ横からふたをかぶせます。息で吹き消してはいけません。火が消えたふたを持ち上げ、ふたたびかぶせて、ふたのねじをきっちり閉めます。すぐにふたのねじを閉めると、次に使うとき、ふたが開きにくいことがあります。



- してはいけないこと  
アルコールランプ同士、もらい火をしてはいけません。  
火が付いたまま、持ち運びしてはいけません。  
燃えやすいものを、そばにおいてはいけません。

